

医療の発展に貢献する新製品を開発した中小企業

宮城県仙台市の株式会社アイ・ティ・リサーチ(従業員4名、資本金1,600万円)は、従業員4名ながら、光・電子計測技術等を活用し、医療の発展に貢献する新しい製品を生み出した中小企業である。

同社が開発したのは、日常の消費カロリーを正確に記録する「インテリジェントカロリーカウンター」という製品である。従来の歩数計でも、消費カロリーを概算する程度なら可能だが、坂道や階段の上り下りと平地歩行を区別できず、階段の上りと平地歩行では消費カロリーが大きく異なることから、正確な消費カロリーを算出することは不可能だった。医療機関では、心臓疾患や糖尿病の治療など、緻密な健康管理を必要とすることが多く、消費カロリーを正確に把握する機器の開発を要望する声がかねてからあがっていた。

そのような要望に応えるため、「インテリジェントカロリーカウンター」を開発した。この製品は、三次元加速度センサと高低差センサ(大気圧センサ)を備え、階段の上り下りを含め、日常生活の行動を9種類に分類し、1日の消費カロリーを正確に算出することができる。現在、その高い精度が評価され、医療機器メーカーのニプロ株式会社と同社が協力し、「ウェルサポート(日常行動記録計)」として販売されている。

同社の川端荘平社長は、「今後は、運動強度や消費カロリーの正確な測定という機能を活かして、医療現場に限らず、運動選手のトレーニングのデータ収集など、幅広い応用をしていきたい。」と更なる展開を目指している。



「ウェルサポート(日常行動記録計)」